



# 浜風だより

## 素倉と協敬組

すぐら きょうけいぐみ

前号の「浜風だより53号」において、「汽船荷客取扱」の伊勢島商店(旧萩印刷)屋上に設けられた望楼についてご紹介しました。その後、その望楼の細部を確認できる鮮明な写真を見出すことができました。あらためてご紹介いたします。ガラス窓を巡らした望楼の様子がよく分かります。さて今回は、その望楼の写真手前(北側)に見える大きな蔵のような建物について触れてみたいと思います。この建物も、

港町・浜崎ならではのものです。この建物が建つ場所には、江戸時代に藩の番所がありました。番所では、港に出入りする船の取締りと、積み出し・積み入れする荷物(貨物)に対して、「口銭」と呼ばれる利用料にあたるものを徴収していました。現在「問屋町筋」と松本川との間に河岸道路が整備されていますが、かつてこの場所は荷物の荷上場としても利用されていました。

明治以降、この荷上場の管理や口銭の徴収などの役目を担ったのは、17軒の廻船問屋をはじめとした浜崎の町人たちでした。その町人たちは、「巴北発輝社(はほくはつきしゃ)」と呼ばれる団体を興しました。それは巴城(萩)の北において輝きを発するといふ、大変に意欲的な名の荷上場管理団体でした。その団体が整備して管理したのが、写真に写る「興倉(おきぐら)」です。浜崎の人たちは、この建物を「素倉(すぐら)」とも呼んだそうです。平素は中

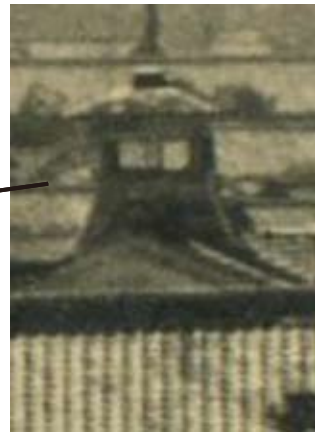
が空で、荷物が置かれていなかったからです。巴北発輝社の荷上場に水揚げされた荷物は、一旦この素倉に納められました。その荷物の荷揚げや仕分け、さらには荷主への配送に携わったのが「素倉仲仕(すぐらなかし)」と呼ばれた人たちです。この素倉仲仕は、前号で触れた大阪商船扱いの荷物も含め、浜崎港の荷揚げ作業に独占的に関わったとされます。素倉の北側に設けられた仲仕詰所には、常時、20〜40名の仲仕が詰めていたとされます。それほど荷扱いが多かったということで、浜崎港の繁栄を示すものです。それは、1925年(大正14年)に萩駅・東萩駅まで鉄道が開業し、貨物の運搬が陸上輸送に変わっていくまで続きました。素倉仲仕については、とても強固な団結心で結びついた団体だったそうです。素倉が役目を終えた後も、住吉神社の崇敬団体「協敬組」として、住吉祭り御船巡行の先導役を務めるなど奉仕を続けました。

清水満幸

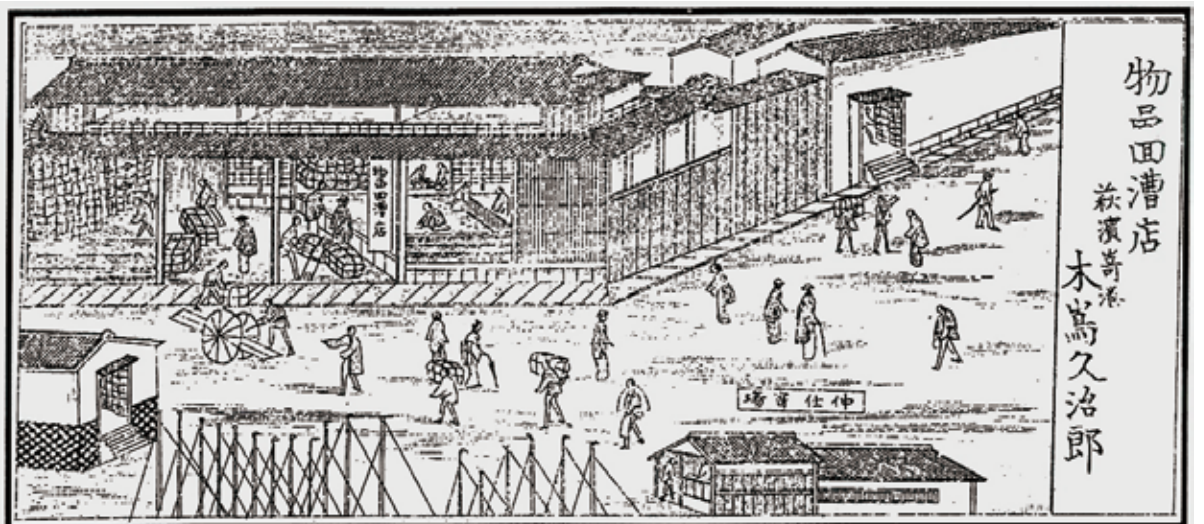
●参考文献 『萩の百年』『萩市「浜崎地区」伝統的建造物群保存対策調査報告』『明治期山口県商工図録』



鶴江の台より撮影された昭和初年頃の旧魚市場付近。素倉近くに石畳の水揚げ場や廣製材所の木材を確認することができます。岸壁に係留された漁船群は、おそらく、この時期に興隆した二艘曳きの底引き網漁船。



前列の揃いの法被が協敬組(大正末年頃)。当時の絵はがきで「県社住吉神社古式御座船」と記してあります。右背景は旧山村家住宅。



木島久治郎商店(明治期商工図録)現在の広さん(浜崎三区)のお宅。仲仕の寄せ場(詰所)、位置からして素倉と考えられる土蔵などが見えます。



# 菊ヶ浜を日本一美しくする会 ☆ 環境大臣表彰受章 ☆



菊ヶ浜を日本一美しくする会(菊一の会)は平成15年に活動を始め、来年は20周年を迎えます。当時すでに高齢であった浜崎新町の赤木新吉さんが菊ヶ浜を清掃されている姿を見て心を打たれ、有志20数名で立ち上げました。



現在は、会長の小茅稔さんを中心に第1・3日曜日に清掃されていますが、ごみが打ちあがった時は気になるので、すぐに浜に集合されるそうです。こうした活動が評価され、今年度の地域環境美化功績者として環境大臣表彰を受けました。

時化や大雨の後でも、ごみや漂流物のない美しい砂浜を見ることができるのは、菊一の会の皆さんの清掃活動のおかげなのです。



12月4日(日)  
開催決定!

浜崎朝市



浜崎のホームページ  
続々更新中!



浜崎ホームページ

好評の浜崎のホームページ。調べてみると首都圏をはじめ、全国各地の方に(中には海外からも)ご覧頂いていました。これからも浜崎の行事や魅力を発信していきます。「浜風だより(カラー版)」も掲載していますので、上のQRコードを読み込むか「萩市浜崎ホームページ」で検索してみてください。

しっちゃんる会で  
活躍中! 末益の  
たっちゃんです。



お久しぶりです。すえます製菓の長男、末益龍夫です。東京の会社に34年勤め、早めに定年退職し、両親と浜崎でのんびり暮らしたくて戻ってきました。今は公益財団法人やまぐち産業振興財団に勤務し、県のDX推進補助金の取得などの支援をしています。企業や個人事業主の皆さんでDX補助金に関心のある方はお気軽にご相談下さい。また、家族は妻が静岡県三島市、娘2人は横浜市で、それぞれ特別支援学校の先生をしており、暫くは離れた生活です。

やっぱり浜崎は街も海も人もぶちええですね。子供のころに可愛がってもらったおじちゃん、おばちゃんに出会うと、とても懐かしいです。お互い歳を取りましたね(笑)。これからは微力ですが地域の手伝いをしながら、皆さんと楽しく生き生きと暮らしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



萩ツインシネマにて公開中

映画

ハッピーバースデー

萩ツインシネマ制作の映画「ハッピーバースデー」が公開中です。血縁関係のない3人の主人公が萩市でひたむきに生きる人々との関わりの中で、本当の家族とは何かを問いつける物語です。全編萩口で、東京のキャストの他、萩の高校生が主演・助演・エキストラとして参加しています。主な舞台として浜崎4区のゲストハウス「暁屋」が使われています。ぜひご覧になって下さい。

御船倉コンサート

10月2日(日) 入場券発売中  
旧山中家住宅



名曲カヴァーと  
金子みすゞの心

ちひろ

昼の部 14:00 夕の部 18:00  
入場料 1500円

編集委員 宮田・川久保・岩崎  
石村・平野・末益

◆ 編集後記 ◆  
お彼岸がすぎ、過ごしやすくなってきました。コロナも減少傾向にあり、これから浜崎を散策されるお客様が増えると思います。御船倉コンサートにも是非おいでください。  
記事にもありますが、このたび、IT系の扱いが得意な末益龍夫さんに編集委員に加わってもらいました。広報委員会が担当するホームページを立ち上げた、ほぼ同時という絶妙のタイミングでしっちゃんる会に入会してくれました。彼にまかせておけば大丈夫という感じですね。

